

景気動向調査結果

－ 平成31年1月分 －

[調査概要]

1 調査対象期間 平成30年10月～12月

2 調査対象企業数 H27～

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 97% (97社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしていますが、平成31年1月分は97社へ訪問した結果です。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

平成31年1月の景気動向

1 総論

売上は全体では1年ぶりにプラスに回復しています。中でも建設業が消費増税前の駆け込み需要等により約 50 ポイントと大きく増加しています。全ての業種で増加となっていますが、製造業と宿泊・飲食業は前回調査での落ち込みから回復しているものの未だ減少回答が多い状況です。

コストでは平成 30 年 1 月以降原材料高が続き、6 割の企業が上昇、また人件費や他の諸経費も上昇回答の割合が高くなっています。

人手不足・技術者不足と原材料・仕入高を経営課題で抱える事業者が突出して多く、引き続き経営に影響が出ています。

2019 年を迎え今年1年間の自社の経営状況の見通しは半数以上が「現状とあまり変わらない」と回答しました。一方では米中貿易摩擦や消費増税などの影響による先行き不透明感が表れています。その中でも人材育成を最重点課題として取り組む事業者が多くを占めた結果となりました。

2 売上

売上は全業種では前回調査から 20.2 ポイント増加し、前回調査の落ち込みからプラスへと転じ、3.1%となりました。全ての業種で前回調査から増加しています。業種別にみると特に建設業の増加が大きく、消費増税前の駆け込みや大規模な受注によって売上が増加したとのコメントがあがっています。前回調査で落ち込んだ製造業と宿泊・飲食業は回復したものの未だ「減少」回答が多く、製造業では中国向け製品の受注の減少が大きく起因しているようです。伝統産業別では食品関係が大きく増加しています。宿泊・飲食業では、忘年会の減少や縮小によって減少しています。卸・小売業はしばらく横ばいの状況が続いていましたが 13.3%のプラスとなっています。

【主なコメント】

- ・暖冬の影響で季節商品の売上減少－卸・小売
- ・年末に物流が追い付かず出荷できなかった－卸・小売
- ・消費税増税前の駆け込み需要あり－建設
- ・大規模な工事が多く売上増加－建設
- ・半導体、液晶関連の受注減少－製造
- ・航空機関係手堅い－製造
- ・エンコーダ、FA 関係が増加－製造
- ・材料入荷の遅れにより売上減少－製造
- ・手間のかかる商品の取扱いをやめたため収益は上がった－製造
- ・倒産企業の商品を受け受注増－製造
- ・中国向け製品が動かない－製造
- ・工学機械がストップしている－製造
- ・価格競争による受注減－製造
- ・取扱商品の TV 放映による影響で増加－製造

- ・モーター、エンコーダ等の主力が減少－製造
- ・忘年会の減少による売上減少－宿泊・飲食
- ・店内のイベント効果で売上増加－宿泊・飲食
- ・製造業の低迷により宴会等が縮小されている－宿泊・飲食
- ・周囲の取引関係の景気が上向いたため増加した－サービス
- ・取引先も増えており微増－サービス

3 コスト状況

原材料は「上昇」回答が 60%と引き続き増加し、依然として半数以上の事業所からの「上昇」回答があります。コメントからも、業種を問わず様々な原材料の値上がりがあり、原油高の影響によるものも多く見受けられます。人件費については「上昇」回答は微減し 36%となっています。最低賃金の上昇によるものの他に、時間外労働に関するコメントがあがっています。その他経費については、「上昇」回答が微減したものの前回同様に石油価格の上昇による物流コストや光熱費の増加をあげる企業が多くあります。製造業からは設備投資を予定するコメントもあがってきています。

【主なコメント】

(原材料)

- ・メーカーの値上げ－卸・小売、建設、製造
- ・材木、建材、生コンの上昇－建設
- ・石の価格が少しずつ上昇－建設
- ・原油製品の値上げ－建設
- ・アルミ材、鉄の値上がり－製造
- ・紙の値上がり－製造
- ・米、大豆の値上がり－製造
- ・物流コスト増による上乘せあり－製造
- ・電子部品が上昇－製造
- ・食品全般的に値上がり(野菜、魚類、肉類)－製造、宿泊・飲食

(人件費)

- ・パートの時給を上げた－卸・小売
- ・定年後の再雇用による給料減－卸・小売
- ・社員の削減により低下－卸・小売
- ・従業員増により上昇－建設、宿泊・飲食、サービス
- ・技術者確保のため人件費上昇－製造
- ・残業の減少により低下－製造
- ・時間外労働増により上昇－製造
- ・季節就労者の増加－製造
- ・最低賃金の上昇により賃上げを実施－卸・小売、製造、宿泊・飲食

(下請け単価)

- ・原材料費高騰による値上げ要請あり－製造

(その他経費)

- ・廃棄物処理費用の上昇－卸・小売
- ・修繕費の上昇－卸・小売
- ・広告費をはじめとした節減－卸・小売
- ・外注費の上昇－建設

- ・設備の導入により上昇－製造
- ・第2工場の増改築により上昇－製造
- ・運賃、燃料代の上昇－卸・小売、建設、製造、宿泊・飲食、サービス
- ・包装資材の値上がり－卸・小売、製造
- ・包材高騰のため、パッケージ作業を外部委託した－製造
- ・備品の買い足しによる上昇－宿泊・飲食
- ・修繕費の上昇－卸・小売、宿泊・飲食
- ・水道光熱費の上昇－宿泊・飲食
- ・新店舗出店に伴う人材募集広告ほか－サービス

4 資金繰り

前回調査との比較で「良好」回答が増加し、「引続き苦しい」、「最近苦しい」回答が減少しました。表にはありませんが、制度資金の利用を検討する事業所は、全体の15%の企業で検討の回答があり、製造業を中心として設備投資に関するコメントもあがっています。

【主なコメント】

- ・従業員用の福利厚生施設を建替え予定－卸・小売
- ・本社、支社共に機械設備導入の予定あり－製造
- ・物搬用のエレベーター3月完成予定－製造
- ・プレス機、コンプレッサー導入予定－製造
- ・毎年12月に運転資金必要－製造
- ・トラックの入れ替えでの借入予定あり－サービス
- ・機械設備2台以上導入予定－サービス

5 経営課題

「人手不足・技術者不足」の回答が41件と増加し、「原材料・仕入高」回答も37件と増加し上位に上がってきています。それ以外の項目は減少しており、前回調査と比較すると上位2項目に回答が偏った結果となりました。人手不足、原材料の高騰共に慢性的な課題となっており、コスト面への影響が懸念されます。コメントからも人手不足に関連した雇用や人件費の課題、原料高を価格に転嫁できないとの回答がありました。

【主なコメント】

- ・人手不足による外注費の上昇－卸・小売
- ・求人を出しても人が集まらず、パートが不足している－卸・小売
- ・公共の大型工事減少に伴う競争の激化－建設
- ・従業員の高齢化による人手不足－建設
- ・災害復旧に機械設備が回されており不足－建設
- ・受注単価の低下と原材料費の上昇により収益が悪化－製造
- ・若い人が雇用できていない－製造
- ・中国向け製品が動かない－製造
- ・仕事は減っているが人手不足を懸念して雇用を維持している－製造
- ・原材料等の高騰が商品価格へ反映できない－製造
- ・設備のメンテナンスのコスト増－製造
- ・卸先である県外小規模事業者の廃業－製造
- ・インバウンド向け商品は難しく、基本的には国内顧客向け商品に重点を置いている－製造

- ・管理職の成長がないー宿泊・飲食
- ・取扱商品需要の自然減ーサービス
- ・災害の影響により部品不足ーサービス

6 2019年の景気見通し、重点事項について

今回は今年1年の事業所の景気見通しと重点をおいて取り組む事項についてお聞きしました。自社の経営状況については「現状とあまり変わらない」と予想する事業所が半数以上と最も多くなりました。業種別では「好転が見込まれる」と予想する事業所は建設業が最も多く、宿泊・飲食業が最も少ない結果となりました。昨年同時期の調査と比較すると好転を見込む事業所が減少しており、コメントにもある様に10月に控えた消費増税および軽減税率制度の適用をはじめとした要因によりマイナスの要素が働いています。

重点をおいて取り組む事項としては「人材育成」が28件と最も多く、慢性的な人材不足も影響し、各企業が重要視しています。次いで「営業強化」、「販路開拓」、「設備投資」、「販売促進」との回答が上位にあがっています。この上位5項目は、順番は上下しますが昨年の調査と同様の結果となりました。

会議所へ求める支援としては「情報提供」が突出して多く、「補助金申請」、「セミナー開催」をはじめ様々なご意見をいただきました。

【主なコメント】

(2019年の経営状況)

- ・消費増税により悪化ー卸・小売
- ・オリンピック景気終了により悪化ー卸・小売
- ・働き方改革への対応により悪化ー卸・小売
- ・軽減税率制度の適用を機に廃業する事業所が増えているー卸・小売
- ・消費増税前の駆け込み需要により好転が見込まれるー建設、製造
- ・受注は昨年並みだが為替に左右されるー製造
- ・改元や消費増税、働き方改革で混乱が予想されるー製造
- ・国内の需要は縮小、過当競争となっているー製造
- ・中国の景気は下がっているがアジア、ヨーロッパで需要があるー製造
- ・中国市場向けが落ち着いてきており数年前の基準に戻ってきているー製造
- ・原材料の高騰分を価格転嫁できなければ悪化するー製造
- ・取引先からの受注減が続いているー製造
- ・製造業が好調から落ち着きつつあるため動向を読み取るのが難しいーサービス
- ・天龍峡大橋の開通による好転ーサービス
- ・経済の先行きの不透明感と消費増税による娯楽費等の節約の懸念ーサービス

(2019年の重点事項)

- ・客単価上昇への対応ー卸・小売
- ・他会社との合併ー建設
- ・働き方改革は業種によって対応が難しいー建設
- ・SNSと連動させたHPの構築ー製造
- ・代金回収方法の模索ー製造
- ・量産体制の構築ー製造
- ・食品ラベル表示の変更による設備投資ー製造
- ・設備投資を行いたい受注が安定せず踏み込めないー製造
- ・コンピューターのシステム変更ー製造

- ・人手不足への対応－製造
- ・新しい部品研究の目が出てきた－製造
- ・残業時間を減らしたいが人手不足により進まない－サービス
- ・新店舗出店、移転－サービス

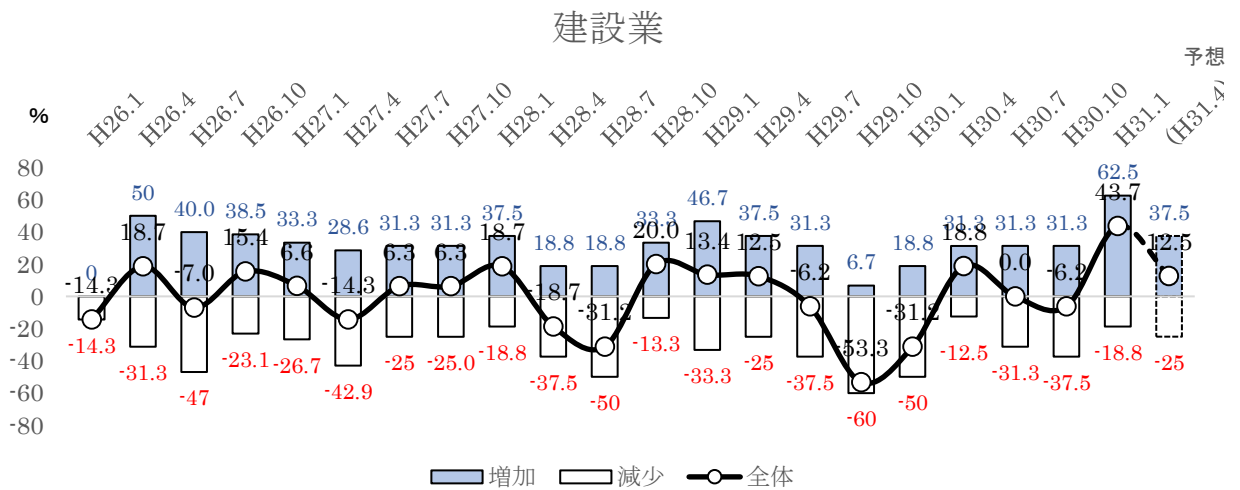
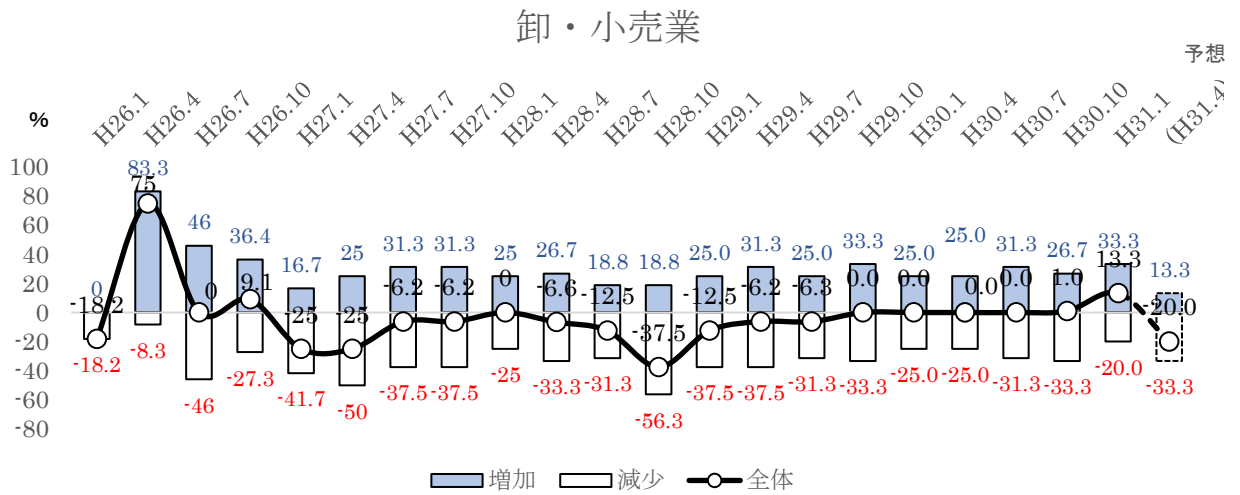
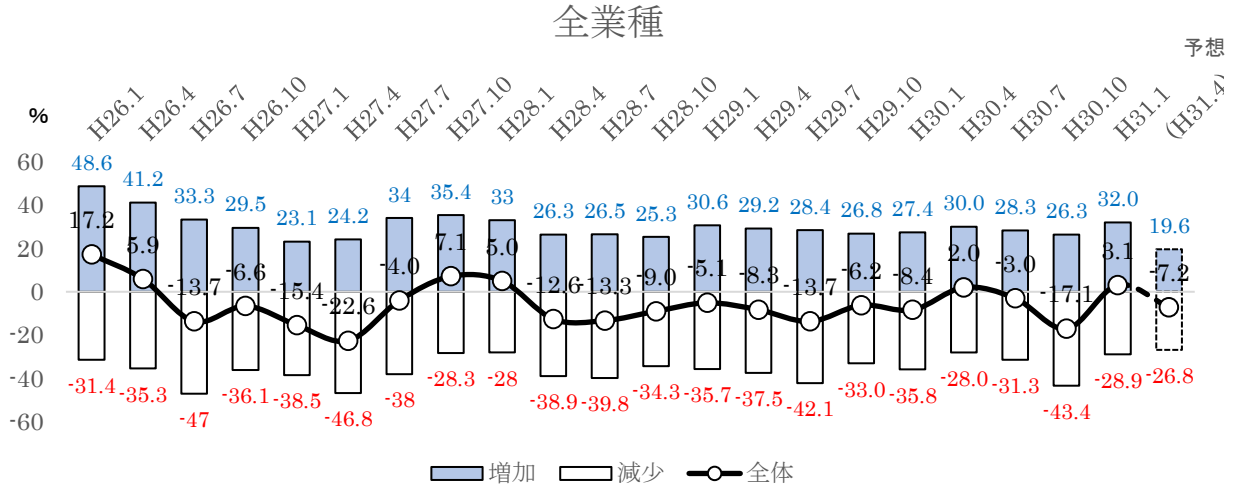
(会議所への要求)

- ・補助金等の情報提供－卸・小売
- ・営業職のためのセミナー－卸・小売
- ・高齢による後継者の相談－卸・小売
- ・営業力、人材育成のセミナー開催希望－卸・小売
- ・原価管理システム等の IT セミナー－建設
- ・地域活性化による経済循環－製造
- ・消費税に関する情報提供－製造
- ・人材確保に関する助成、補助制度の充実－宿泊・飲食
- ・管理職層のセミナー希望－サービス
- ・中堅社員、リーダー向けの研修希望－サービス
- ・一般の社員が興味を持って参加できるセミナーの時間外での開催－サービス
- ・設備導入考えているものがあるので補助金検討－サービス
- ・会議所と会員との交流－サービス
- ・リニア駅周辺や、飯田市が今後どのように変化していくか話が聞きたい－サービス

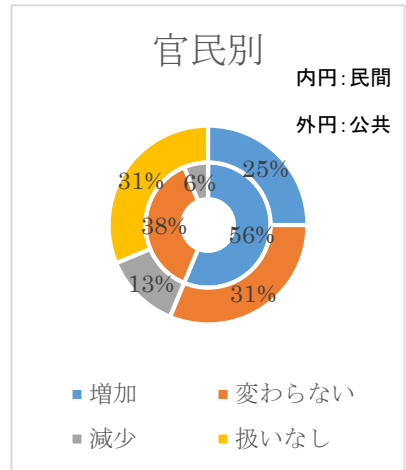
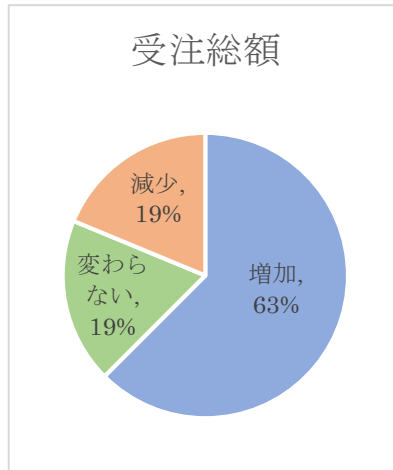
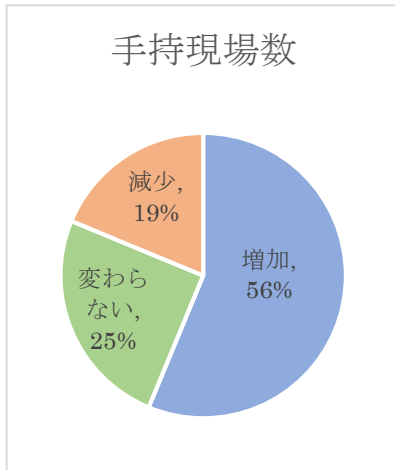
景気動向調査集計結果

I 売上・受注高

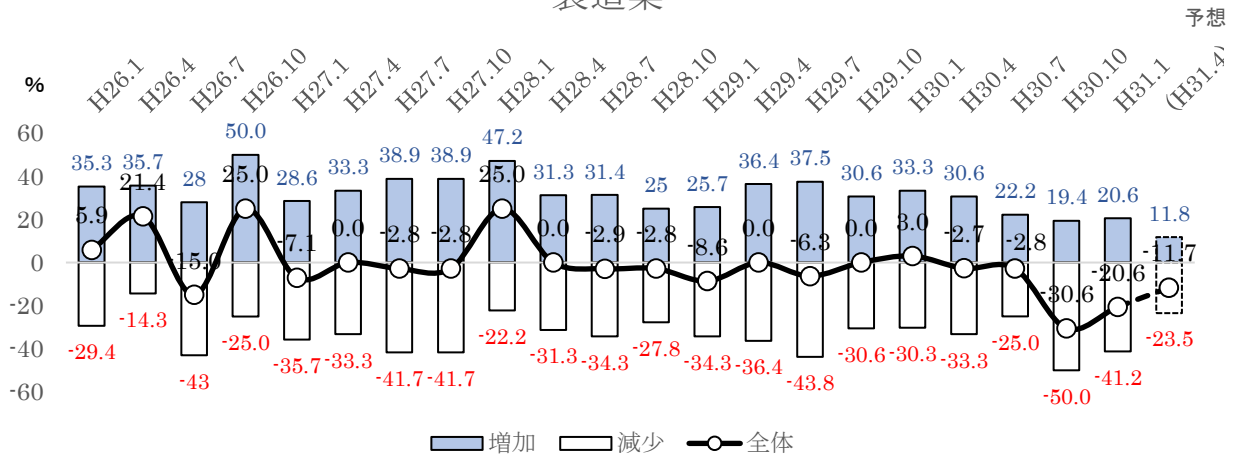
■ 最近3か月、前年同期に比べて及び今後3か月の予想



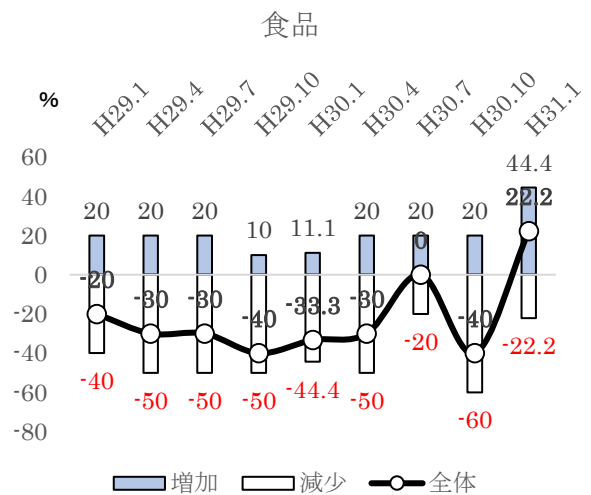
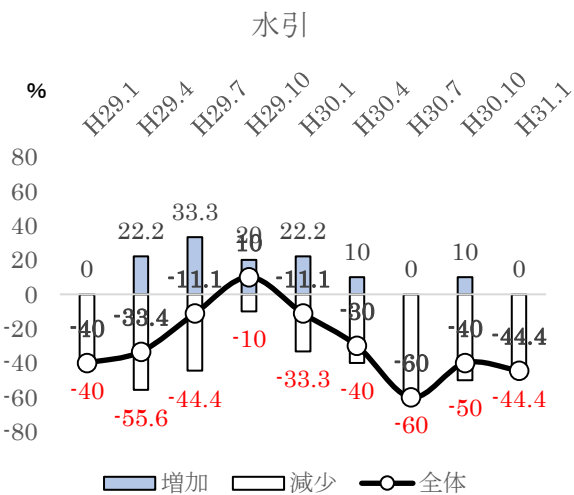
(建設業)



製造業

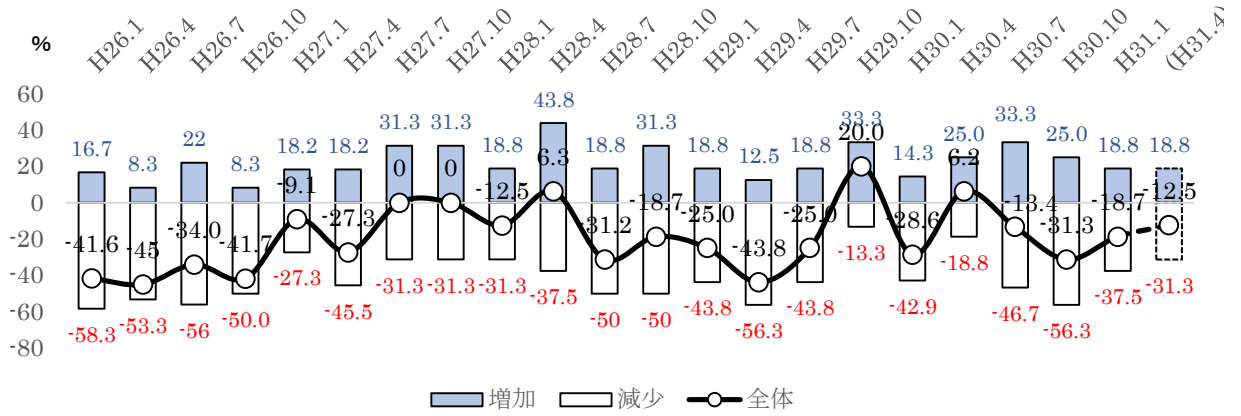


(伝統産業)



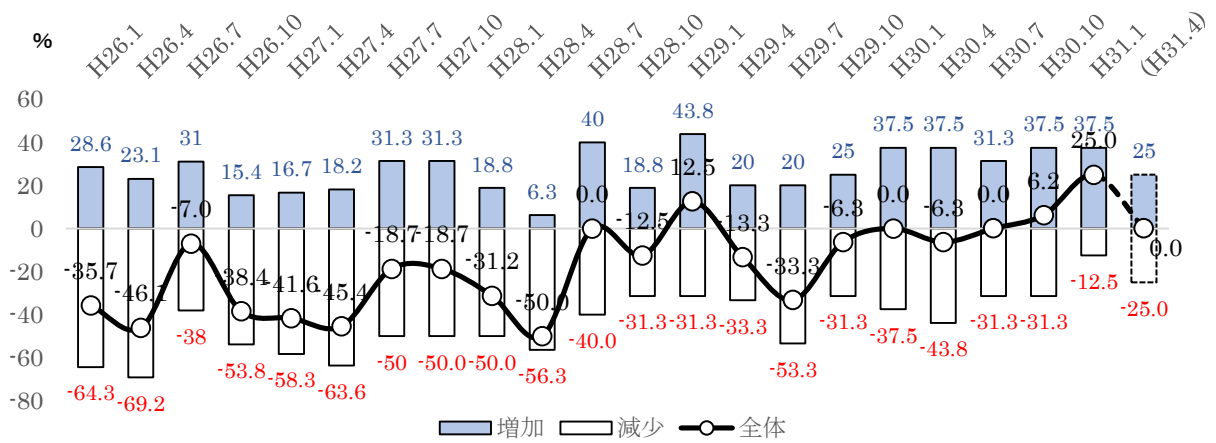
宿泊・飲食業

予想

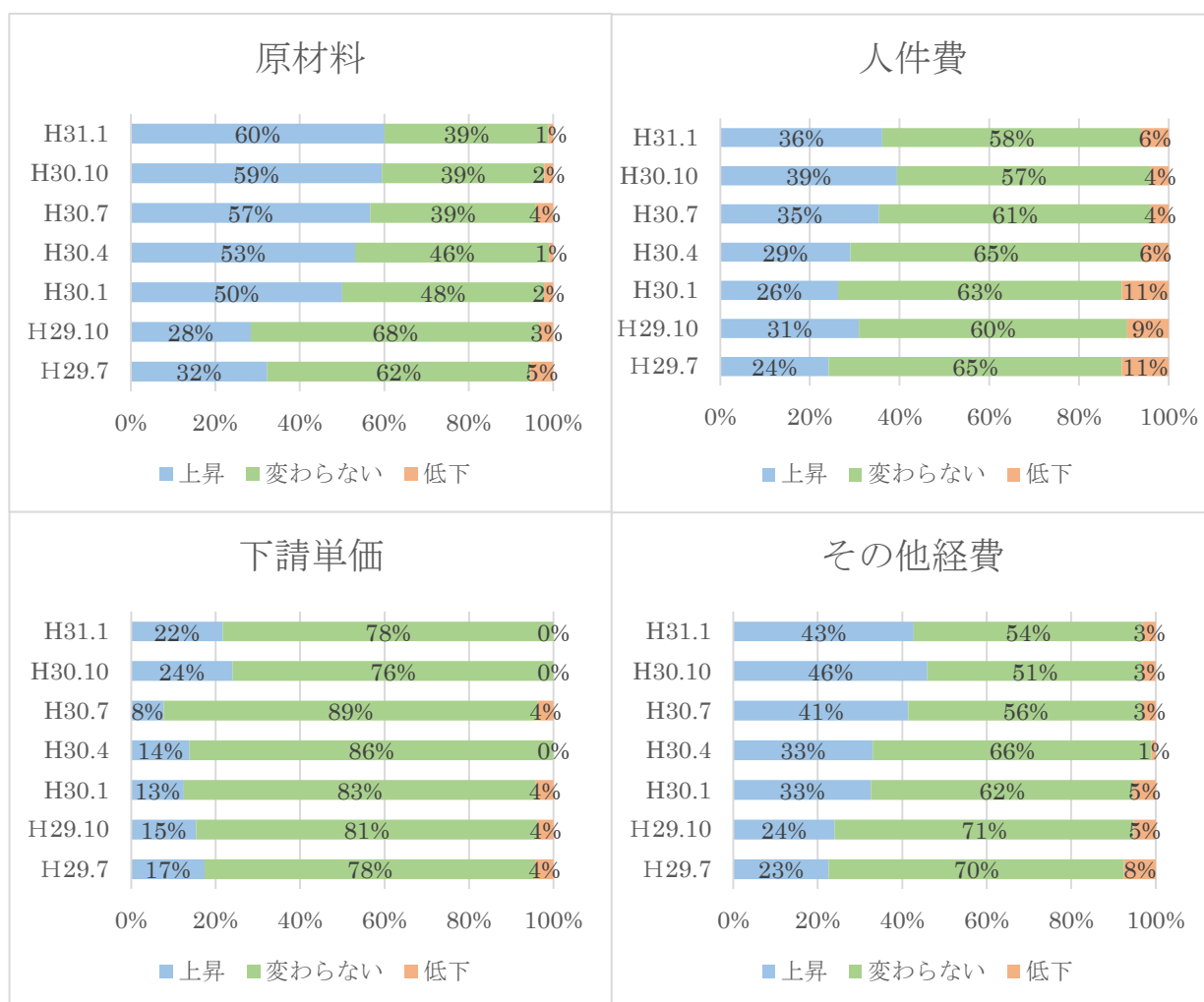


サービス業

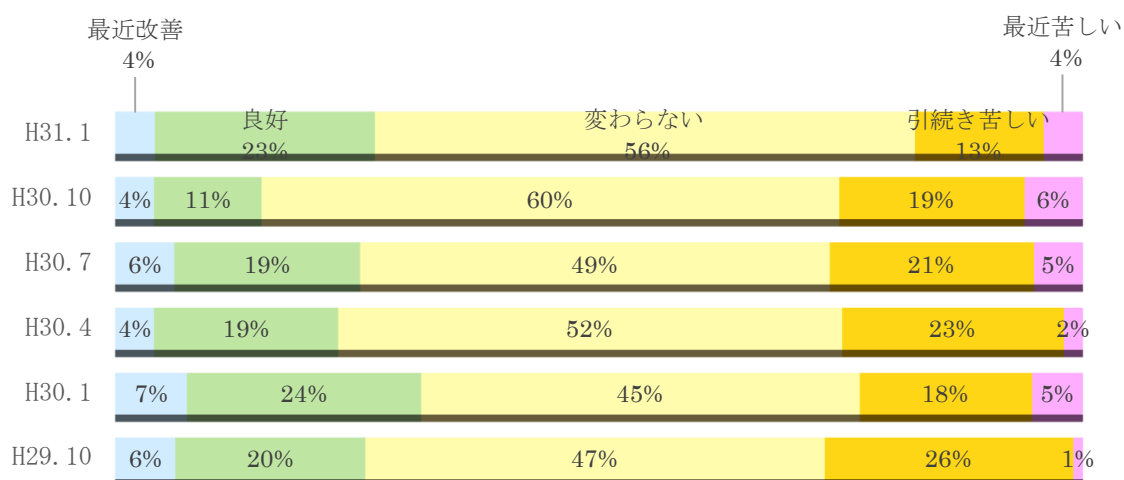
予想



Ⅱ コストの状況 - 昨年同期に比べて - (全業種)

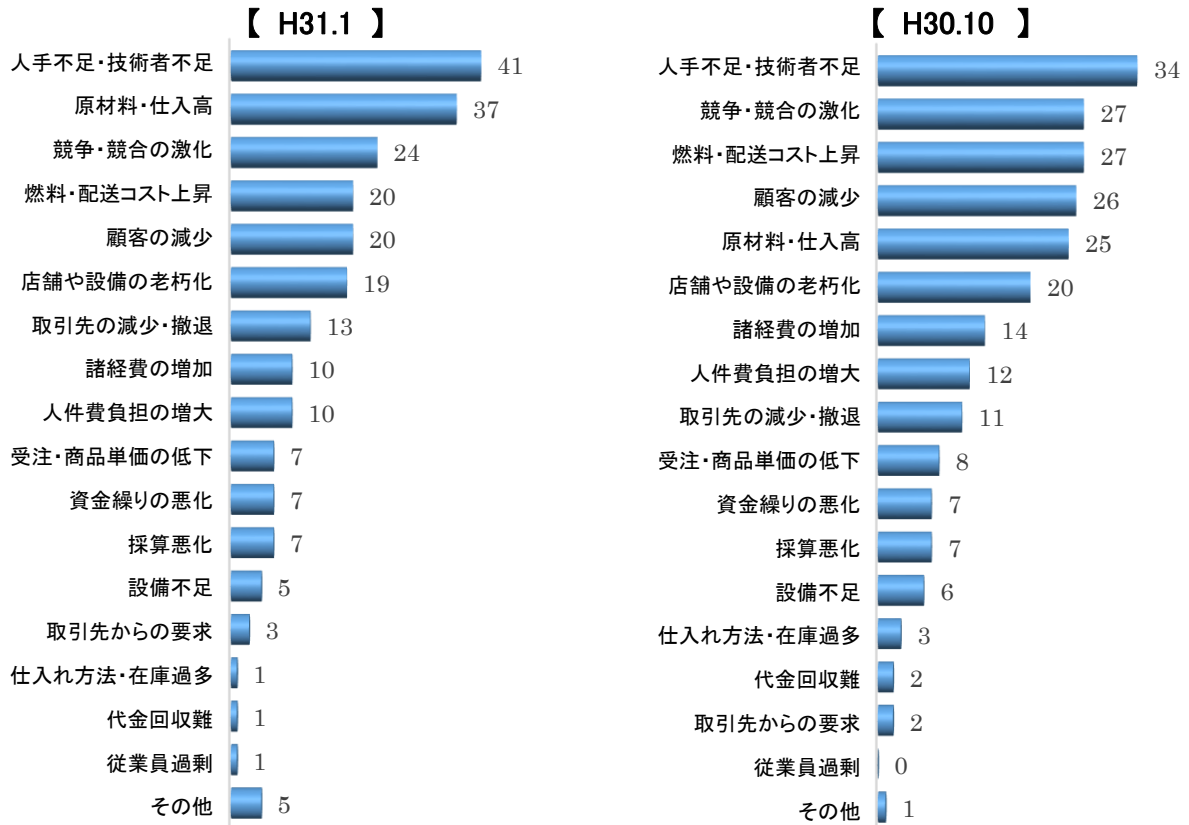


Ⅲ 資金繰りの状況 - 昨年同期と比べて - (全業種)

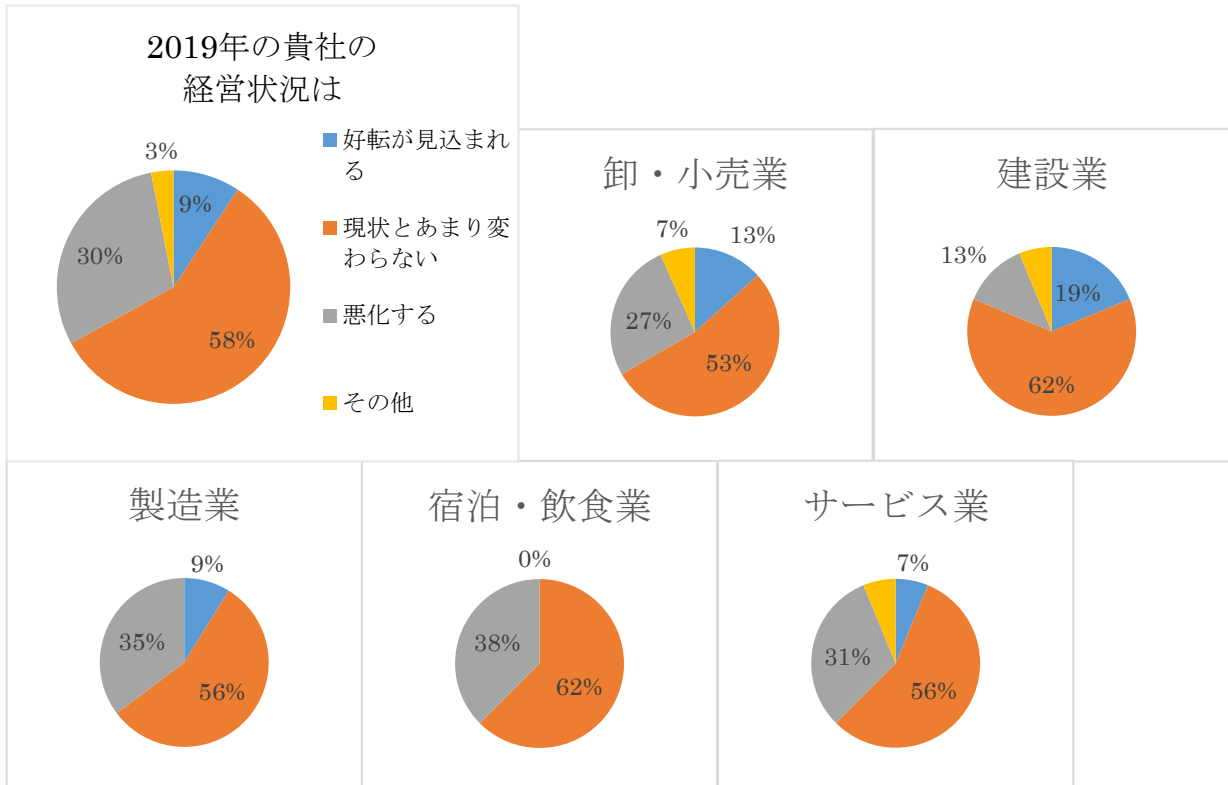


IV 経営上の現在の課題(全業種)

※3つまでの複数回答

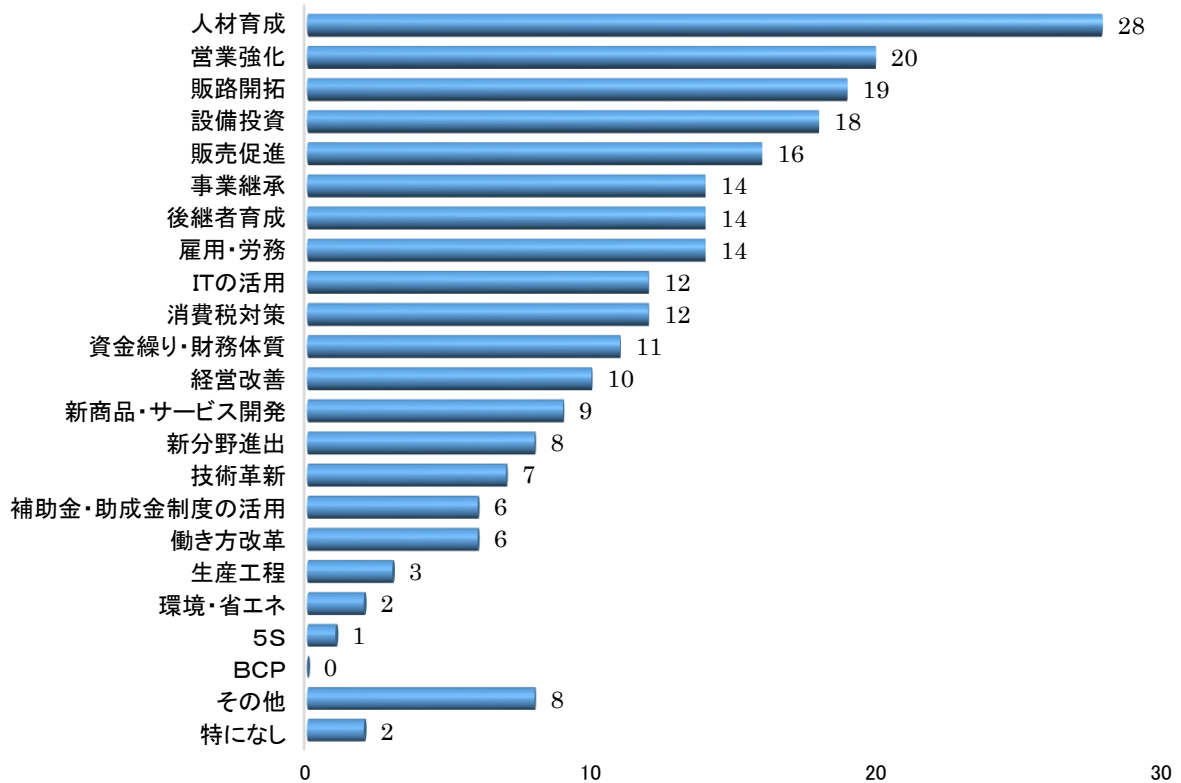


V 2019年の景気見通し、重点事項



1年間、最も重点をおいて取り組む事項

※3つまでの複数回答



商工会議所に求めること

※複数回答

